

ナマステ

特定非営利活動法人

自然文化誌研究会 会報誌

104 号

2011 年 6 月 10 日発行号

震災後、いろいろな不安もありましたが、「野草の天ぷらとお茶つみの会」「冒険学校 むらまつりキャンプ」を予定どおり開催しました。参加者、スタッフが一丸となって、食材を調達し、焚き火を囲み、川で遊び、語り合いながら寝食を共にすること・・・幸せを実感すると同時に、貴重な場であると強く思いました。本会が行う活動の大切さ、継続してきたことを納得することができました。

これから夏を迎え、「こすげ冒険学校」をはじめ、多くの活動を予定しています。会員の皆様と意義ある活動を目指していきたいと思います、今後ともよろしく願いいたします。

この夏は「節電」が必須となるようです。クーラーの必要ない小菅村、沢の水を飲み、薪で調理できる小菅村へぜひお越しください。一緒に焚き火を囲みましょう。ご馳走を用意してお待ちしております！！

<今回の震災における被災地への支援金（義援金）の募集について>

前号のナマステ 103 号におきまして、自然文化誌研究会も被災地の方々への支援金を会員の皆さまに募集を行いました。ここで第一次募集を終了させていただきます。皆さまからお寄せいただいた支援金は、会員または関係者に直接渡して、活かしてもらうように準備を進めています。

今後の会報ナマステ、ホームページで詳細はご報告していきたいと思います。ご支援いただいた皆さまありがとうございます。最終ページでお名前をご紹介させていただきました。

事務局長 黒澤友彦



「冒険学校 むらまつりキャンプ」全員で記念撮影(5/5 小菅村にて)

—もくじ—

春の活動のご報告	2
夏の活動のご案内	4
ログハウス第2弾進行状況	7
JT 助成金交付式	7
植物と人々の博物館 vol.4	8
小菅村の動き vol.4	9
事務局だより	10

活動報告

その1 冒険学校「むらまつりキャンプ」 5.3~5(2泊3日)

大震災の影響もあり、小菅村で5月4日に開催される予定だった「第25回多摩源流まつり」は早々に中止の決定となりました。しかし、本会の「冒険学校 むらまつりキャンプ」は、「名称を変更することなく自信をもって開催しよう、多摩源流まつりは中止だがスケジュールに余裕がある、プログラムも充実させよう」ということで、開催を決定しました。この時期に小菅村の小永田（こながた）地区にも毎年訪れています。小永田地区では5月5日に神代神楽を舞い、浅間様（せんげんさま）に奉納しています。スタッフの加藤翔くんも神楽の舞台に上がっています。

参加者の方、スタッフの方、総勢50名のにぎやかなキャンプとなりました。改めて、野外活動の必要性を実感することができました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。



水温15℃前後。でも川で遊ぶぜ！



小菅村の加藤源久氏に山菜採りをご案内いただきました。



沢登りをして、ゴールの滝（堰堤）に到着！！



小永田神楽を見て、村の生活文化も学びました。

今回のキャンプ中に行った、主なプログラムを紹介します！

5/3 (DAY1) テント張り、沢登り、川遊び、滝を見に行く、丸太の皮むき、焚き火、ヤマメの調理

5/4 (DAY2) 野鳥観察、村内探索、山菜採り・調理、芋植え、川遊び、五右衛門風呂、仏舎利登山、メロンパン作り、星空観察、焚き火

5/5 (DAY3) 小永田神楽、温泉に入って解散～♪

雨が降って、星はあまり見れなかったけど、いっぱい活動しました。夏も楽しみです！（事務局）

その2 のびと講座「野草の天ぷらとお茶つみの会」 4.29(日曜日)

毎年恒例の「野草の天ぷらとお茶つみの会」デイキャンプは晴天に恵まれ開催することができました。事前に日程を決めているので、お茶の生育を毎年心配しています・・・大丈夫でした。しかも今年は、宮本透さんも指導に来てくれたので、いつもより美味しいお茶を作ることができました。



お茶づくりは時間が掛かるので、最初にお茶つみです。

野草の講師には樹木医の岩谷美苗さん。学内探索ツアーでは「アミガサタケ」「ハルシメジ」も見つけました！



岩谷さんによる野草の解説も行いました。



ハルシメジだ～！！ぐふふ～っ！



アミガサタケだ～！！クリーム煮にしました。

いっぱいお茶を摘んでくれた皆さん、天ぷらを揚げ続けてくれた皆さん、本当にありがとうございました！

皆さま、来年もお楽しみに！雨天決行ですぞ！

終了後は「冒険学校 むらまつりキャンプ」のスタッフ事前ミーティングも行いました。（事務局）

その3 立川環境フェア出展 4.24(@立川市昭和記念公園)

本会の宣伝、小菅村の宣伝を兼ねて、昭和記念公園で開催する「立川環境フェア・春の楽市」に4年連続で出展してきました。小菅村の特産品であるヤマメの塩焼き、環境浄化材「源流きらり」、小菅村の青柳竹男さんの手づくり純正ハチミツ、本会のチラシを用意して出展してきました。

手伝ってくれた会員の皆さん、ありがとう～！（はるこ）

匠語録（平成23年4月24日 @昭和記念公園にて）

「俺、ヤマメ焼くの極めたわ～」

「俺、クロの役に立てて嬉しいよ～」・・・照れるぜ。



ヤマメを焼く、はるちゃんと匠くん

活動案内

今年の冒険学校、のびと講座は、日本たばこ産業(JT)より『2011 年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業』助成を受けて開催しています。

また、「冒険学校 こすげ冒険学校」は、「子どもゆめ基金 子どもの体験活動助成金」もを受けて開催しています。

その1 冒険学校「こすげ冒険学校」 7.30~8.4(5泊6日)

小菅村の自然と文化を満喫しながら過ごす5泊6日の長期キャンプです。川遊びでは飛び込んだり、魚がいっぱいいる淵で泳いだり、魚を捕ったり、思う存分に遊び続けよう!! 寒くないように焚き火をしながら、お風呂も沸かしておこう。星を眺めながら眠くなったら寝てしまおう!! 一緒に山の中や村の暮らしを探検してみよう~!! 6日間遊び続けて、みんなで楽しいキャンプをしましょう~!

日 程：7月30日(土)~8月4日(木) 5泊6日 場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テント・ログハウス・野宿など

対 象：小学校3年生~中学校3年生 20名

参加費：会員：¥19,000 非会員：¥21,000

申込み：7月15日(金)まで、先着順です。

その2 冒険学校「やまめキャンプ」「いわなキャンプ」 8.6~8.8

「小菅村をぜひ体験してみませんか？」1泊2日のキャンプをしながら、小菅村の自然と文化を感じるキャンプを行います。親子での参加が可能なキャンプです。大人の方もお子さまと一緒に、小菅村の自然や文化に触れてみませんか？ ご一緒にキャンプをしながら、野外で食事をつくり、思いっきり遊びながらテントで休みます。「自然」という名の遊び場は最高ですよ。今年も「やまめキャンプ」「いわなキャンプ」と連続して行います。連続で参加して2泊3日のキャンプにすることも可能ですよ~!!

「やまめキャンプ」：8/6~7 1泊2日 「いわなキャンプ」：8/7~8 1泊2日 ※連続で2泊3日OK!

場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テント・ログハウス・野宿など

対 象：小学校3年生以上は子どものみの参加可能。

申込み：7月15日(金)まで、先着順です。

参加費：1泊2日親子での参加：20,000円(会員)

※ 連続参加、子どものみの参加は割引します。



山に登って1泊するぞ~!



川遊びだ! 魚捕りだ! この後は、五右衛門風呂だ!

参加の申込は事務局まで、E-mail かハガキで、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、年齢(学年)をご記入の上、お気軽にお申しください。お待ちしております~♪

その3 「タイ環境学習キャンプ」

8.13~8.21(8泊9日)

今年もタイキャンプへ行きます！！今回も首都バンコクから車で数時間、ウタイタニー県バンライ郊外の「パンダキャンプ」を拠点に活動を展開します。毎年訪れているファイカケン野生動物保護区は世界遺産であり、観光客はもとより、地元の方でも許可がなければ入れません。貴重な動物を見て、密猟者から保護区を守るレンジャーからのお話は興味深く楽しみです。



少数民族のカレン族の集落訪問、伝統工芸品の製作など体験内容を充実させています。恒例の現地教員とのワークショップも好評となっています。高層ビルの立ち並ぶバンコクと少数民族が暮らす亜熱帯の森に皆

さんは何を感じるでしょうか？通訳、ガイドも同行し、現地のラジャバト大学との連携もありますので安心してご参加くださいませ！！



日 程：8/13（土）～21 日（日）

対 象：高校生～一般（中学生以下は要相談）

参加費：140,000 円

※航空券と現地での費用が含まれています。

申込み：6 月 30 日（木）締め切りですが、航空券の手配がありますので、まずは事務局までご連絡ください。また、パスポートを持っていない方は、急ぎ用意する必要があります。

事前に参加者ミーティングも行いますのでご安心を！

日時	活動内容	備考
8 月 13 日（土）	成田→バンコク	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
8 月 14 日（日）	バンコク→バンライ	パンダキャンプ泊
	・サム・チュク古市場 ・歓迎会	
8 月 15 日（月）	バンライ→ファイカケン野生動物保護区	ファイカケン野生動物保護区ゲストハウス泊
	・野生動物観察 ・バードウォッチング	
8 月 16 日（火）	バンライ→ファイカケン野生動物保護区	ファイカケン野生動物保護区ゲストハウス泊
	・野生動物観察 ・バードウォッチング	・レンジャーとの交流
8 月 17 日（水）	ファイカケン野生動物保護区→バンライ	パンダキャンプ泊
	・バードウォッチング ・少数民族の学校訪問	・カレン、ラオ族の集落訪問（竹工芸品制作体験）
8 月 18 日（木）	バンライ（パンダキャンプ）	パンダキャンプ泊
	・ティーチャーワークショップ ・タイマッサージ	
8 月 19 日（金）	バンライ→バンコク	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
	・ラジャバト大学環境施設見学	
8 月 20 日（土）	バンライ→バンコク	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
	・ラジャバト大学交流会 ・バンコク市内観光	
8 月 21 日（日）	バンコク→成田	

※日程表は例年のものです。プログラムは毎年変化していますので二度目の参加でも飽きませんよ～。

その4 のびと講座「源流での登山道整備」 7.23~25(2泊3日)

甲武信ヶ岳は、山梨県・埼玉県・長野県の分水嶺となっており、荒川・千曲川・笛吹川の3つの河川の水源地です。ここから流れる水を飲み水、生活用水として利用しています。私たちの生活にかかわりの深い上流で、本当に美味しい源流の水を味わいながら、登山道での草刈り、整備を行い、一緒に汗をかきませんか？

甲武信小屋のご主人・山中徳治さんのお話を交えて、源流と流域のつながりを身をもって感じる講座です。

体力があまりないのでちょっと自信が・・・という方でも、自分のペースで活動できますよ。

日 程：7月23日(土)~25(月)2泊3日 場 所：甲武信ヶ岳と甲武信小屋の登山道
宿 泊：甲武信小屋 参加費：会員：¥12,000 程(宿泊費・滞在費・保険代など)
対 象：高校生~一般 15 名(中学生以下は要相談) 申込み：7月15日(金)まで、先着順です。



みんなで力を合わせて働き、汗を流します。

その5「ELF環境学習中堅指導者(のびと)研修会+CONEコーディネーター養成講座」

本会の30年の活動実績・理論を活かした指導者研修会を「ELF環境学習中堅指導者(のびと)研修会」と名称しています。一方「CONE」とは、自然体験活動推進協議会のことで、多くの野外活動団体が所属しており、本会も所属、共通の資格認定を行っています。それが「CONE リーダー」「CONE インストラクター」「CONE コーディネーター」といった資格です。今回、「CONE コーディネーター」も資格認定できる「ELF環境学習中堅指導者(のびと)研修会」を開催します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

講 師：中込卓男、中込貴芳、小川泰彦、田之下雅之、
黒澤友彦ほか

日 程：7/16(土)~18日(月)

会 場：小菅村全域

参加要件：23 歳以上になります。

参加費：25,000 円(宿泊費、食費、教材費込み)

宿泊：キャンプ場内のログハウス

申込み：6/30(木)までにお申し込みください。詳細をお知らせいたします。

最少催行人数：5 名



田之下雅之さんによる「企画・運営」ワークショップ

また、上半期は、みなかみ雪中キャンプでも一緒にいる、三菱UFJ環境財団による東京学芸大学寄附講義「多彩なアプローチによる環境学習」の講義と連携して、本会の「のびと認証」と「CONE リーダー」の取得のための研修会を行っています。7月初旬に小菅村において、実技を中心とした研修会を行います。学芸大学講義に出席していない方も、認定をしていきますので、ご参加ください。

講 師：木俣美樹男、中込卓男、中込貴芳、小川泰彦、黒澤友彦ほか

日 程：7/2(土)~3日(日)

会 場：小菅村 ※実技を兼ねてテント泊の予定です。

参加費：学生：10,000 円 一般：15,000 円 申込み：6/20(月)までに事務局へお申し込みください。

参加要件：16 歳以上になります。

その6 第2期ログスクール(ログビルダー養成講座)**週末の小菅村！！**

ログハウスづくり第2弾は休むことなく隔週のペースで続いています。冬場に刻んでおいた材をいよいよ組み始めることになりました！ここから一気に作業が進みますよ～！！



オーナーの木下善晴さんと建前を行いました。

ログビルダーたちは隔週で小菅に泊まりこみながら丸太との格闘を開始しています！

また、ログスクール（養成講座）を秋に予定をしています。ご興味のある方はぜひ、ログチームに加わり、週末ごとに一緒に、熱い汗を流しませんか？

興味のある方はメーリングリストに登録できます。

まずは事務局までご相談ください！！



チェーンソーで丸太を刻みます。びえーる（瀬崎くん）も通ってます。



組み始めるとデカイ～！！完成が楽しみです。

特別報告「2011年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業」 交付式の報告

今年度、JT（日本たばこ産業）による『2011 年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業』の助成を受けることができました。対象となる事業は、「冒険学校」「のびと講座」の冠が付いている主催事業です。この助成により、各事業の参加費を下げることができ、多くの方々が参加しやすく、質の高いキャンプ活動を行うことができます。

6月9日に、立川市民会館にて交付式がありました。本会理事であり、冒険学校で村長を務めてくださる鈴木英雄理事と事務局で交付式に行ってきました。緊張しました～！

助成金の申請書を書くのは苦労しますが、決定した時の嬉しさは事務局冥利に尽きます。（事務局）



交付書を受け取る、鈴木英雄理事

『植物と人々の博物館』 vol.4

「植物と人々の博物館」では、「エコミュージアム日本村」づくりを行っています。村内の各所にサテライトを設け、村全体を博物館としています。コアミュージアムを小菅村中央公民館におき、「植物と人々の博物館」として情報の発信を行っています。今回、サテライトの一つである、「雑穀見本園（中組地区＝小菅の湯の近辺）」において「第14回雑穀栽培講習会」を開催しました（5/7～8）。

今回の雑穀栽培講習会では、①雑穀栽培実技講習、②民族植物学セミナー、③アカモロうどんと山菜てんぷらの調理実習を行いました。



雑穀の種まき 講師：岡部良雄氏、中川智氏



伝統的な種まきを行います。



山菜採り 講師：青柳諭氏、亀井雄次氏



アカモロコシのうどんづくり 講師：広瀬和章氏、広瀬晴彦氏



参加者の皆さまと美味しくいただきました！

今後は、除草、鳥避けの網掛けを経て、9月に雑穀の収穫を迎えます。7月にはキビは出穂しますので、小菅村にお越しの際は、雑穀見本園にもお立ち寄りください。ブログでも、畑の様子を報告していきます！！ 雑穀見本園にも「サテライト」のロゴマークを設置しておきます～♪



『小菅村の動き』 vol. 4

新緑の時期を迎え、いよいよ梅雨に突入です。村の人を訪問しやすい時期になります。雨の日は畑がお休みなので、村の方もお家にいる時が多いからです～！！

①アキ子さん(船木民宿)の味噌づくり

普段からお世話になっている、船木民宿のアキさんの味噌づくりを手伝ってきました。



一晩浸水した大豆を 1 日煮て、更に翌日、煮なおしてから、臼と杵で搗きます。



大豆と麴とアメ(大豆の煮汁)を臼で混ぜます。なるほど～！



塩をふって終了です。この味噌樽がすごい！、おばあさんのおばあさんから使っているとのこと！100 年物です。味噌の香りがする。

②小菅村「100%自然塾」の活動

本会のキャンプで、講師を務めてくださる方がたくさんいる会です。春は山菜採りに行きました(5/8)！



山菜を仕分けてから、調理と宴会です！

③毎年 4 月は銃砲検査でした。

4 月には猟銃の所持者に対し、銃砲検査が行われます。現在、小菅村の猟友会は 22 名。減少の一途です。ヤマメ養殖の父であり、ワナ猟の名人であつた酒井いわおさんも 4 月にご逝去されました。



狩猟をはじめの人が増えて欲しいが・・・。

銃砲の所持は警察の管轄で、狩猟免許は環境省の管轄です。銃刀法(警察)は、全国の事件を受け、厳しくなる一方で、年配の猟師の方が所持許可の更新するのが難しくなっています。一方、増大する鹿やイノシシ、サル。畑の被害も、実際に畑をやっている村人にとっては、死活問題であり、そのため、猟師、ワナ猟ができる人間を増やしたいのが、環境省の考えのようです。有害鳥獣駆除は 1 年中実施されているのが現状です。

○ 今後の活動予定のお知らせ (2011 年夏)

- 7/2~3 『ELF 環境学習中堅指導者(のびと)研修会+CONE リーダー養成講座』 @小菅村
 7/16~18 『ELF 環境学習中堅指導者(のびと)研修会+CONE コーディネーター養成講座』 @小菅村
 7/23~25 のびと講座『源流での登山道整備』 @甲武信小屋周辺 2泊3日
 7/30~8/4 冒険学校『こすげ冒険学校』 @小菅村 5泊6日
 8/6~7 冒険学校『やまめキャンプ』 @小菅村 1泊2日
 8/7~8 冒険学校『いわなキャンプ』 @小菅村 1泊2日
 8/13~21 のびと講座『タイ環境学習キャンプ』 @タイ王国 8泊9日

やまめキャンプ、いわなキャンプの連続参加で2泊3日可能です!!

『ログビルダー養成講座』は、毎月第1・3・5の週末を中心に活動しています。事務局までご相談ください。

○ 被災地支援金(義援金)をご寄付くださったみなさん

森田美枝子様 黒澤美和子様 岡部高英様 吉永武久様 中川幸生様 加藤翔様 中込卓男様 黒澤東江様
 由本圭様 鈴木英雄様 土元恵美様 西村俊様 松崎玲奈様 井上雅代様 山本豊美様 以上 15 名の方から
 被災地支援金をお預かりし、総額 118,500 円となりました。重ねて御礼申し上げます。(事務局)

○ 事務局より

- 『猫が3匹になり毎日・・・明け方から運動会。癒しと安眠の両立は難しい・・・。 クロ』
 ●『あたたかくなり、畑にぎやかになりました。夏が楽しみです! はるこ』

○ 事務局の麗しき日々(KIDS 会報遅延の遅延による遅延のためのネタを披露♪)

・室、弾、匠が大学院行きを宣言。研究なのか?モロトリアムか・・・。 ・高校生スタッフが仲良しで羨ましいという意見が多い(主にオシ)。
 ・先週、小菅村がテレビに出た。うちの会は控えめな会なので、もちろん映らなかった。映ったら、キャンプが定員オーバー・・・というのは夢。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、会費の納入をお願いします。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下5つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額(1~12月)です。会員は、主催事業に会員価格でご参加できます。

また、皆様からのご寄付も募っております。

正会員: 10,000 円 一般会員: 5,000 円

学生会員: 3,000 円 賛助会員(個人・団体): 10,000 円

家族会員(一家族): 6,000 円

「家族会員」は家族全員が会員になります。なお、正会員・賛助会員の方は、家族会員と同等に家族全員が会員になっておりますので、引き続きご参加くださいませ。

郵便振替口座 : 00100-2-665768

口座名 : 特定非営利活動法人自然文化誌研究会



ナマステ 104 号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日> 2011 年 6 月 10 日

<編集> 自然文化誌研究会 事務局

<発行> 特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局> 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4115

TEL & FAX : 0428-87-0165

携帯 : 090-3334-5328 (黒澤)

E-mail : npo-inch@wine.plala.or.jp

H P : <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>